



学校だより 令和5年3月  
新宿区立四谷第六小学校  
校長 岩澤 肇

【 教 育 目 標 】  
・自ら学ぶ子ども  
・たくましい子ども  
・思いやりのある子ども

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6>

## 地域とともに歩む学校

校長 岩澤 肇

この3学期は、「ふれあい授業」ということで、各学年でテーマを決めて、地域協働学校運営協議会の皆様を中心に、「地域の方から学ぶ授業」を行っています。それぞれの講師の皆様から地域のことやこれからの生き方等について子どもたちはたくさん学んでいきます。昨年度まで、生活科と総合的な学習では、「いのちの学習」を中心に据えて計画を進めてきていたのですが、今年度からは開校100周年を目前に控える中で、「地域を学ぶ学習」に軸を移しながら計画を再構築し始めました。

今年度は教員がまちに出て調べ、授業の課題を学んだり、関連する地域の人材を尋ねたりすることから始まっていますので、実際に子どもたちの授業までたどり着いていない学年もありましたが、各学年で少しずつ学ぶべき地域のことを整理してきました。6年生は移動教室の長野県伊那市から結んで、江戸時代の内藤新宿から続くこの町のこと（令和5年度からは移動教室が日光になりますが、江戸の城下町として切り口は変わらないと考えています。）、5年生は食の学びの中心を「お米」から江戸東京野菜・内藤とうがらしに代えて進めていくこと。4年生は福祉教育の観点を、新国立競技場や各駅や公共施設等のまちの建物を調べながら「だれにでもやさしいまち」のこと。3年生は、生活科でのまち探検や地域安全マップ作りを生かしての「まちじまん」。そして低学年と幼稚園では、新宿御苑が中心だった公園遊び・探検をもっと地域の公園に広げていくこと。それぞれができることから始めていますが、次年度はさらに子どもたちが実際に地域を歩く学習としていきたいと思っています。まだまだ子どもたちや教員が気付いていないこのまちの魅力がたくさんあることと思います。卒業していく6年生の児童・保護者の皆様も含め、地域の皆様全員のお力をお貸しいただき、「地域を学ぶ学習」「地域とともに歩む学校」を進めてまいりたいと思います。

※政府の発表により、学校現場でのコロナ対策の段階的な解除が進められることとなりました。卒業式に関しては、6年生の保護者会にて説明しました。今後、4月1日時点、5月8日時点で段階的に進めてまいりますので、詳細が決まり次第お知らせしていきます。

### 6年生を送る会

特別活動部

2月24日（金）に「6年生を送る会」を行いました。今年は前後半に分かれて行い、各学年から6年生に向けたお祝いのメッセージが送られました。5年生は6年生から校旗・区旗を引き継ぎ、自分たちが四六の伝統を引き継ぐんだという強い気持ちをもつことができました。

昼休みにはフレンドグループごとに集まり、5年生が企画した班遊びを行いました。最後にはフレンドグループの6年生へ1～5年生一人ひとりが書いたメッセージを渡しました。

下級生はこれまで委員会活動やフレンドグループ、鼓笛の演奏など、学校のために頑張ってきた6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えることができ、子どもたちにとって有意義な一日になったと思います。

### ～6年生の窓～



6年担任

現在、家庭科や総合的な学習の時間を使って、地域の中で生きるとはどういうことを考えています。自らと地域の方たちとの関わりを見つめ直すことを通して、家族や地域の一員として自分たちに何ができるのかを一生懸命に考えている子ども達の姿に、頼もしさを感じました。

移杖式、送別球技大会、6年生を送る会。これらの行事が行われる毎に、子ども達の中に「いよいよ卒業が近付いてきたんだ。」という実感が高まってきます。残りの1か月、これまでの学習を振り返るとともに、中学校に向けての準備をしっかりとさせていきたいと思っています。

これまで支えてくださった保護者の方、地域の方、本当にありがとうございました。

